

■開催概要

開催日：2016年10月18日(火) 13:00～18:00

会 場：アイビーホール(東京・表参道)
東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-3409-8181

参加費：一般：27,000円(1名様につき)
(テキスト代、消費税及び地方消費税含む)

定期購読者割引価格：19,440円(1名様につき)

(テキスト代、消費税及び地方消費税含む)

※「月刊プロパティマネジメント」「月刊レジャー産業資料」の年間定期購読契約者
ならびに新規定期購読ご契約の方を対象とさせていただきます。

申込みはWebから
今すぐ

月刊プロパティマネジメント
■毎月27日発行
■年間定期購読料 ※送料込
36,000円＋税
■定価
3,200円＋税＋送料210円

Property

月刊レジャー産業資料
■毎月25日発行
■年間定期購読料 ※送料込
63,000円＋税
■定価
5,500円＋税＋送料280円

http://www.sogo-unicom.co.jp

■お申込み方法

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証／請求書／銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に☑印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名／氏名／電話番号／返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方に指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

■ホテル事業投資&マネジメントフォーラム2016 参加申込書

「月刊プロパティマネジメント」「月刊レジャー産業資料」の年間定期購読(最新号から1年間)をご希望される方は、下記の新規定期購読希望欄に☑印をご記入ください。参加費を「定期購読者割引価格」とさせていただきます。

会 社 名		貴社業種
フリガナ		
住 所		TEL
		FAX
☐ 「月刊プロパティマネジメント」年間定期購読契約者 ☐ 「月刊レジャー産業資料」年間定期購読契約者		
☐ 「月刊プロパティマネジメント」新規定期購読希望者 ☐ 「月刊レジャー産業資料」新規定期購読希望者		
ご出席者名	所属部署・役職名	E-mailアドレス
フリガナ		
フリガナ		
フリガナ		

●参加費振込予定日(月 日)／●当日現金支払い希望…☐／ご担当者名()

■会場案内

アイビーホール

■最寄り駅からの経路

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅下車
(B3出口より徒歩5分)

都営バス(渋谷駅前→新橋駅北口) 南青山五丁目下車
(新橋駅北口→渋谷駅前) 青山学院前下車

■お申込みFAX番号

フリーダイヤルFAX番号
0120-05-2560
(上記のFAXが通じない場合は、FAX03-3564-2560におかけ直ください。)

■お問合せ先

総合ユニコム株式会社 企画事業部
〒104-0031 東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館6階
TEL 03(3563)0099(直通)
http://www.sogo-unicom.co.jp
※ホームページでは、弊社の出版物・セミナーのご案内をしております。

お願い：ダイレクトメールの送付先変更または中止をご希望の方は、お手数ですが封筒ラベルに要件をご記入の上、総合ユニコム(株)企画事業部までFAXにてご連絡ください。

ホテル事業の近未来戦略を徹底検証

ホテル市場の最新潮流を把握し、新たな開発仕掛けるプレーヤーの目線
競争激化の中で[ホテルの差別化]と[収益向上]に取り組むオペレーターの戦略を研究

オーナー・投資家・オペレーターのための「ホテルビジネスミーティング」

ホテル事業投資&マネジメントフォーラム 2016

2016年10月18日(火) 13:00～18:00 [会場]アイビーホール(東京・表参道)



スペイン・オトッサ社の運営ホテル



米国シカゴ「ハイアットセントリック」



ホテルグランパッハ熱海

◆ホテル事業の成長をどう戦略化していくか
PwCコンサルティング合同会社

◆世界のホテル会社の戦略と、日本のホテル市場
GRUPO HOTUSA／ハイアットホテルズ&リゾーツ 日本ハイアット(株)
グループ オトッサ

◆注目ホテル経営・運営企業のネクスト戦略
アールエヌティーホテルズ(株)／ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ(株)
(株)グリーンホスピタリティーマネジメント

不動産収益事業として
依然として高い開発意欲が続く

ホテルビジネス

これからいかに適正な開発を進め
競合を生き抜くブランドコンセプトを構築し
安定した収益を高める運営を行なっていくか

主 催 総合ユニコム株式会社
月刊レジャー産業資料 Property
management

東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館6階
TEL.03-3563-0099(直通)

http://www.sogo-unicom.co.jp

■ごあんない

ホテル事業の開発・投資意欲は依然として高いまま、勢いを保ち各地で計画が進んでいます。ホテル事業は、不動産投資事業としてみると、運営力、施設力、経営力の魅力の有無が収益向上に大きく影響するビジネスです。国内ビジネス客の需要回復とともに、観光需要の増大、インバウンド増、2020年東京オリンピック開催、国際会議誘致などのMICE市場など、宿泊需要が安定して高くなることもありますが客室増に伴ない、これから「真の競争」が激化することは間違いありません。この先、ホテル事業の開発をどう行なっていくのか、ターゲットや業態、施設などブランド政策をどのようにするか、世界の顧客との相互交流を促す新たな手立ては何かなど、差別化したホテル経営のあり方を検討すべき時期といえます。本フォーラムは、ホテル投資市場の見通し、開発・投資の次の戦略を練るための具体手法を学びながら、ホテル事業関係者を一堂に会するビジネス交流機会としても位置づけて開催してまいります。

■プログラム&スケジュール

■13:00~13:40 [基調講演]

I. ホテル事業の成長をどう戦略化していくか

- ◆ホテル事業環境の今をどうみるか——ホテルパフォーマンス最新動向を踏まえて
- ◆観光需要増大を背景に、開発・投資はこれからどうすべきか
- ◆競合化に突入する次世代のホテル経営について

講師:澤田 竜次 PwCコンサルティング合同会社 リアルエステート&ホスピタリティ パートナー

さわだ りゅうじ●1989年に第一勧業銀行(現みずほ銀行)に入行。大企業等の資本市場からの資金調達に絡むファイナンシャルアドバイザー業務を経験した後、2000年4月に会計事務所系のコンサルティング会社に入社。財務戦略担当リーダーとして、主としてM&A戦略、企業再編・再生関連ビジネスを経験した後、07年1月よりホテル部門の立ち上げを主導、ホテルおよび不動産事業会社に対する戦略コンサルティング業務およびホテルの開発・売買時におけるアドバイザー業務を提供。16年1月より現職。不動産、ホテル・旅館、テーマパーク、レジャー産業のクライアントに対して、事業戦略立案支援から当該戦略の実行支援(開発体制・会員制度・人事制度・システム等の構築サポート)までのコンサルティング業務、およびマーケット・フィージビリティスタディ、ホテルコンセプト策定支援やオペレーター選定支援(リース・マネジメントコントラクト)等の開発関連アドバイザー業務を提供している。



■13:40~14:25 [世界のホテル会社の戦略と日本のホテル市場①]

II. スペイン拠点「GRUPO HOTUSA (グルーポ・オトゥサ)」 「Eurostars Hotels」 「Exe Hotels」 「Ikonik Hotels」

- ◆ヨーロッパのホテルビジネスの最新潮流
- ◆事業拡大を遂げる「グルーポ・オトゥサ」のビジネスモデル——ホテル部門と旅行部門で展開
- ◆アジアのホテル市場をどうみているか、日本進出をどうみていくか

講師:ルベン・コリャード・アビラ GRUPO HOTUSA 開発部長

公開質問:澤田 竜次 PwCコンサルティング合同会社 リアルエステート&ホスピタリティ パートナー

グループ・オトゥサ●世界最大の独立系ホテルレップ(予約や宣伝業務の代行業者)として旅行部門を展開しながら、アッパーミドル「Eurostars Hotels」(世界50か国・地域に90軒)、アッパースケール「イコレクション」のマネジメントのほか、FCでミッドスケールブランド「Exe Hotels」(40軒)を展開中。エコノミータイプ「Ikonik Hotels」の1号店をメキシコで今年9月に開業。スペインに本拠地を置きながらホテルはヨーロッパの主要観光都市に展開、その後言語的に親和性の高い南米へと拡大。そしてアジア市場への拡大を準備中。



■14:30~15:15 [世界のホテル会社の戦略と日本のホテル市場②]

III. ハイアットホテルズ&リゾーツのブランド戦略と加速する日本新規ホテルの今後

- ◆ハイアットホテルズ&リゾーツの事業戦略
- ◆各ホテルブランドの戦略
- ◆日本における新ブランドの進出と今後の開業計画

講師:阿部 博秀 日本ハイアット㈱ 代表取締役

あべ ひろひで●東京大学経済学部卒業後、東京ガス㈱入社。ホテル開発部門で「パーク ハイアット 東京」の開業に携わる。同ホテルのマーケティング部長等を務め、2002年ハイアットシカゴ本社に赴任。ブランド戦略やレベニューマネジメントなどコーポレートマーケティング全般の責任者を務める。その後本社のアセットマネジメント部門を経て、06年日本ハイアット㈱に転籍。日本の新規ホテル開発案件の分析と推進、国内外のホテルを所有する在日本企業との契約および諸事項の交渉、日本国内でのコーポレート経営戦略の実施に携わる。10年より現職。14年よりグアム・サイパンにも統括。コーネル大学ホテル経営学部修士課程修了。



リッチモンドホテル



ホテル・ザ・エム インソムニア 赤坂



ホテルグランヴィア京都

■15:30~18:00 [リレー講演&ディスカッション]

IV. 注目ホテル経営・運営企業のネクスト戦略——宿泊業態多様化の中で、どのマーケットを狙いホテル開発を進めるか

第1部
リレー講演
各20-30分



◆リッチモンドホテル…ブランド価値向上と出店戦略

- ・焦らないリッチモンドの出店戦略
- ・京成電鉄との合併会社設立による出店により会員の利便性を高める
- ・ど真ん中のES、CS、収益を目指す

講師:成田 鉄政 アールエヌティーホテルズ㈱ 代表取締役社長

なりた てつまさ●1959年生まれ。北海道出身。82年ロイヤル㈱、(現ロイヤルホールディングス㈱)に入社。84年ロイヤルホスト店長。89年専門店支配人(開業)。95年リッチモンドホテル東大阪(1号店)支配人。2003年統括支配人。04年アールエヌティーホテルズ㈱取締役。11年3月同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。趣味はプロレス・プロ野球観戦、昨年日本一に輝いた東北楽天ゴールデンイーグルスは創設当時からの大ファン。



◆ソラーレ ホテルズ…運営価値を象徴する新業態ホテル創造とチャレンジ

- ・ファンドからの独立で、真の運営会社へ
- ・新感覚「ホテル・ザ・エム インソムニア 赤坂」など新業態への展開
- ・FC・提携ホテル、運営受託の積極展開

講師:井上 理 ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ㈱ 代表取締役社長

いのうえ ただし●1999年米国ローン・スター・グループ ハドソン・ジャパン㈱入社、2003年同グループの㈱スター・キャピタル取締役副社長、㈱スター・プロパティーズ取締役副社長就任。07年1月ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ㈱取締役副社長 兼 CFO。12年11月よりCMO兼任。16年2月5日ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ㈱代表取締役社長就任。



◆グリーンホスピタリティー・マネジメント…独自ブランド展開へ

- ・MCオペレーターとして多様な契約内容でホテル運営件数を拡大
- ・自社ブランド「ホテルグランヴィア」を本格立ち上げへ、その狙いと今後
- ・母体グリーンハウスグループの店舗展開ノウハウをホテル開発・運営に活かす

講師:菱沼 徹臣 ㈱グリーンホスピタリティー・マネジメント 専務取締役

ひしぬま てつおみ●1974年渡米。以後80年まで現地に各種ホテルおよびレストランにて勤務。81年オクラホマ大学経営学部を経てコーネル大学ホテル経営学部修士課程修了。82年帰国後、森永製菓、ロイヤル、JR東日本各グループの外食部門で要職を歴任。2004年グリーンハウスグループに転じ、営業推進本部長など。06年 同グループのホテル開発部門に専任し、開発関連業務を主管。15年ホテル開発部門を統括する傍ら、MC契約下にて受託しているホテル群の運営も管掌している。

第2部
ディスカッション

◆ホテルオペレーターのネクスト戦略競合進むホテルビジネスで、いかに収益拡大を狙っていくか

パネラー

成田 鉄政 アールエヌティーホテルズ㈱ 代表取締役社長

井上 理 ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ㈱ 代表取締役社長

菱沼 徹臣 ㈱グリーンホスピタリティー・マネジメント 専務取締役

進行



内藤信也 ㈱ホスピタリティパートナーズ 企画調査部 ヴァイスプレジデント

ないとう しんや●1994年12月米国ペンシルバニア州立テンブル大学卒。2003年7月までブルームバーグL.P.に勤務。05年5月米国コーネル大学ジョンソン・スクールにてMBA取得後、㈱グラックス・アンド・アソシエイツ、ADインベストメント・マネジメント㈱、ジャパン・ホテル・アンド・リゾート㈱を経て、08年1月、㈱ホスピタリティパートナーズ入社。08年3月以降、㈱Aカードホテルシステムの執行役員、12年4月より㈱ホスピタリティオペレーションズのフランチャイズ事業部長を兼務。日本ホスピタリティアセットマネジャー協会会員、一般社団法人不動産証券化協会認定マスター。主な執筆●月刊レジャー産業資料(2014年4月 No.571)特集 百花繚乱ホテルビジネスー宿泊主体型の新戦略「宿泊主体・特化型ホテルの新規開発と売買トレンド」、総合ユニコム(2013年3月)宿泊特化主体型ホテルの運営&再生実務資料集「第1編 宿泊特化主体型ホテルマーケットの変遷と展望」/週刊HOTRES(2007.8.24)別冊 必ず成功するホテルリノベーションPARTII「ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人のリノベーション戦略」翻訳●「ホテルアセットマネジメントその原理と実践」立教大学出版会 『第5章:ホテル投資判断・取得・保有・売却の分析手順』および「第14章:移民法の改定と臨時季節労働者法制定」/週刊HOTRES(2013.8.5)特集 ホテル証券化の現状と未来を探る「コーネル大学ホテルスクール助教授 Daniel C. Quan氏インタビュー」